

一般質問・質疑の概要

平成26年6月定例会

発言順	質問・質疑の別	議席・氏名	質問・質疑の内容（通告原文のとおり）
1	質問 (一問一答)	6 川 哲郎	<p>市の「子ども達の体力の低下」の捉え方について</p> <p>①子ども達の体力の低下に対する市の考え方を示せ ②市の子どもの「体力・運動能力テスト」の現状と全国平均と比べどのような状況か、また併せて県下での順位とその傾向は ③事故や負傷を前提にした対応ではなく事故等を未然に防ぐための取り組み、設備の充実及び補助（100％）についての考え ④体力の低下の原因の一つとされる家庭での生活習慣に対する市の対応や取り組みまた啓発の有無は ⑤子どもを取り巻く環境の問題の解決策として体育の授業の充実が重要であると思われるがそれについての市の見識は ⑥乳幼児教育に対する保護者への指導 市の取り組み、啓発事業等があれば教えていただきたい ⑦保育園児を対象とした事業・施策は</p> <p>教育（食育）に関する「のいちスタイル」（仮称）の確立・ブランド化</p> <p>①学校教育上の食育に関する市の取り組み・施策は ②市内における肥満児童の現状の把握と対応は ③市独自の施策が必要であり、またその施策自体が本市の特色・特徴になり魅力に繋がるのではないかと考えられる野々市特有の食育事業はのいちブランドの確立になる</p>
2	質問 (一問一答)	7 早川 彰一	<p>ふるさと納税について</p> <p>納税者が手軽に自分の想いで寄付することができ、税制上の優遇もあるふるさと納税制度について市の取り組み状況はどのようなものか。 納税によるメリットとして確定申告による寄付金控除の適用が受けられるとともに、地域の特産品がもらえるなど各自治体で様々な工夫がされている。野々市市の場合にはどのような特典があるのか。</p> <p>北陸新幹線の金沢開業に向けた交通政策について</p> <p>北陸新幹線金沢開業による利用者について、県外観光客だけでなく多くの地元民の利用にも目を向けなければならない。多くの需要を見込む場合、金沢駅までの交通機関をスムーズに乗り継げることが重要と考える。早朝や夜遅い時間帯にのっティやシャトルバスが利用できれば利用者が増えるのではないかと。事業者や関係機関への働き掛けにより実現できないか。</p> <p>白山町地内の大型店舗オープンに伴う安全対策について</p> <p>建設が進み概要が見えてきた。食品部門は24時間営業との情報も聞く。絶え間ない自動車や人の出入りに不安を感じるが、白山保育園や菅原小学校の通学時等の安全確保に万全を期すための対策を問う。</p>
3	質問 (一問一答)	2 中村 義彦	<p>1、のっティ、のんキーの利用促進への提案</p> <p>・のっティ、のんキーの料金均一化による利便性の向上を図り、同時に定期券の導入を行えばどうか</p> <p>2、市公用車、のっティ、のんキーへのドライブレコーダーの導入の考えを問う</p> <p>・市公用車、のっティ、のんキーへのドライブレコーダー装備により犯罪抑制力の向上及び不審者の発見や迷子、行方不明者の発見保護等に大いに威力を発揮し、市民の皆様に安心、安全な生活を提供出来るのではないかと</p> <p>3、市内、学校間生徒数の格差の対応を問う</p> <p>・急激な人口増による市内、小中学校における生徒数の片寄りの対策をどのように考え、今後の対応について具体的に答えよ</p> <p>4、野々市市教育委員会としての小中一貫教育の考え方を問う</p> <p>・小中一貫教育による4、3、2年制の取り組みが全国でも多く行われており中一ギャップの解消や小学校から中学校へのスムーズな移行などに効果の認められる小中一貫教育に対する野々市市教育委員会の考え方を問う</p>

発言順	質問・質疑の別	議席・氏名	質問・質疑の内容（通告原文のとおり）
4	質問 (一問一答)	4 金村 哲夫	<p>1. 土地区画整理事業のまちづくり</p> <p>①野々市土地区画整理事業の現在の進捗について 野々市三地区（仮称；中林地区、柳町地区、蓮花寺・田尻・堀内地区）の土地区画整理事業の進捗を踏まえ組合設立までのスケジュールを問う。</p> <p>②新市街地整備地区で設置する公営墓地について 野々市市第一次総合計画の基本計画の中に、定住化を促進するため公営墓地公園等が必要不可欠であるとしており、新市街地整備地区で3,000区画（中林地区1,500区画、蓮花寺・田尻・堀内地区1,500区画）の設置を検討することになっていきます。 中林地区では、県立大学周辺まちづくり協議会が発足し、街づくりに関する調査・研究・立案を行うが、市が検討される際に、地元意見として反映させることができないか、併せて公営墓地として、市側の計画するスケジュールを問う。</p> <p>③石川県立大学周辺の土地利用について 石川県立大学周辺に研究機関と連携できるような企業の誘致の進捗状況について、具体的に教えて欲しい。</p> <p>④多機能型ホテルの誘致の検討について 本市には、宿泊施設の数が少なく、会議等があっても宿泊者は、金沢市のホテル等に宿泊を余儀なくされています。多機能的なホテルを誘致できれば、地域の活性化と新しいまちづくりが期待できると思うが、見解を問う。</p> <p>2. 休憩施設「道の駅」</p> <p>①野々市市における休憩施設「道の駅」構想について 「休憩機能」、「情報発信機能」、「地域の連携機能」、「防災機能」を併せ持ち、本市の地域振興の発展にも寄与できる施設を整備できないか問う。</p> <p>②「道の駅」の魅力について 本市における特産品・農産物を生産者の立場から見ると、道の駅の登場によって、自分で販売できるルートが確立し、地域とともにつくる個性豊かにぎわいの場として、また、おいしいものを頂ける魅力について、見解を問う。</p> <p>3. ボランティア活動「見守り隊」</p> <p>①ボランティア活動「見守り隊」の功績をたたえることについて 地域で早朝の子どもたちの登校時と昼間の下校時の時間帯にあいさつ運動を兼ねて見守っています。 ボランティア活動での表彰になると20年活動しなければ、対象にならない規程である。 見守り隊は高齢者が多く、表彰規程の20年というのは大変困難な気がします。5年間を一区切りとして、また、今後の継続性を考えれば、市表彰以外で見守り隊を顕彰する方法はないのか問う。</p> <p>4. 防災行政無線の設置</p> <p>①防災行政無線の設置スケジュールについて 今年度設置予定の防災行政無線は、市役所庁舎を含めて28カ所と聞いておりますが、設置について具体的なスケジュールを問う。</p> <p>②防災行政無線の多目的使用について 防災行政無線は、災害時はもちろん伝達されるが、それ以外のこの設備を使って何か行うことはあるのか問う。</p> <p>③防災行政無線の点検（テスト）について 防災行政無線のサイレンの点検（テスト）などは、どのようにするのか問う。</p>
5	質問 (一問一答)	12 大東 和美	<p>1. 図書館建設と管理運営</p> <p>①建設と管理運営の主体 ・武雄市立図書館視察の感想</p> <p>②PFI事業、民間活用など財政基盤について</p> <p>③図書館長の専任制を提案 ・建設前の段階から専任館長</p> <p>④図書館員の専門性を生かす工夫を ・資料作成という魅力を</p> <p>2. 子育て支援、保育料の無料化</p> <p>①0歳児保育の実態と財政負担の概算経費</p> <p>②0歳児保育体制の対面保育の提案と在宅保育に支援費創設を提案</p> <p>③就学前・全員保育の実施と就学前保育料の無料化について</p> <p>3. 土曜日の教育活動をめぐる動向</p> <p>①土曜授業の実態をめぐる動き</p> <p>②民間の世論調査等において土曜授業の実施に対して高い支持率について</p> <p>③土曜日をかならずしも有意義に過ごせていない子どもたちが少なからず存在するとの指摘について</p> <p>④児童生徒及び保護者にアンケート調査を提案</p> <p>4. 包括ケアシステムの構築</p> <p>①これまでの介護保険制度との違いと高齢者の現状</p> <p>②地域内での受け入れ態勢についてとシステム構築のための人材育成</p> <p>③支え合いマップとケアラー支援</p> <p>④高齢者が住み慣れた地域で暮らせる社会の実現に向けて「地域包括ケアシステム推進協議会」の設立を提案</p> <p>5. マイナンバー制度と社会保障制度</p> <p>①マイナンバー制度の導入と情報保護のセキュリティは万全か</p> <p>②マイナンバー制度の自治体の受け入れ準備は整っているのか</p> <p>③マイナンバー制度のメリットと課題とその解決策</p>

発言順	質問・質疑の別	議席・氏名	質問・質疑の内容（通告原文のとおり）
6	質問 (一問一答)	1 西本 政之	<p>I. 保育料の軽減について ①第2子、第3子の保育料の軽減条件の緩和を求める。</p> <p>II. 市の臨時・非常勤職員について ①今年3月で大勢の臨時・非常勤職員の契約が打ち切られた。その理由は何か。 ②補充は完了しているか。 ③補充困難な職種・部署には正規職員を増員せよ。</p>
7	質問 (一問一答)	16 岩見 博	<p>I. 安倍首相の集団的自衛権行使容認問題について 1. 安倍首相は、憲法が禁じている「集団的自衛権」の行使を容認しようとしているが、日本の国・国民を守る自衛とは無関係で、日本が武力攻撃を受けていなくてもアメリカの起こす戦争に参戦し、海外での武力行使に道を開くものにほかならない。このようなことがまかり通れば、憲法のどの条文も時の政権の都合のいいように解釈改憲できるようになり、憲法が憲法でなくなる。それはまた、憲法は国民の側のものであり、政権の勝手を縛るという立憲主義の否定になるが、市長の考えを聞く。</p> <p>II. 子ども医療費の窓口無料化実施を 1. 3月に梶輪島市長が窓口無料化実施を表明し、宮本加賀市長もあらためて実施の意向を示している。白山市も高校卒業までの拡大を決断するなど、拡大・充実に前向きな動きが一気に進んでいる。市も窓口無料化の実施を決断する時期に来ているのではないか。</p> <p>III. 子ども・子育て支援新制度について 1. 市の事業計画は子ども・子育て会議に示されているのか。 2. 市の子ども・子育て会議での議論の経過と論点を聞く。 3. 保護者への制度説明はいつ行われるのか。</p> <p>IV. 医療・介護の総合的確保を推進する法案に関わって 1. 要支援1、2の方の訪問介護サービス、通所介護サービス別の受給者人数は。 2. 要支援者は地域支援事業にかわっても必要なサービスを受けられるというが、要介護認定を省略して要支援からも追い出されたり、要支援者向け給付費の抑制を義務づけられるなどによってサービスの貧弱化は避けられないのではないか。 3. 国は、2025年度までに入院用ベッドを再編・削減する計画で、看護師配置の「7対1病床」について、33万床を18万床に削減し、今年度と来年度で9万床を減らすとしている。公立松任石川中央病院はどうなるのか。 4. 次期介護保険事業計画において病院や施設への入院・入所を限定された方を支える24時間定期巡回サービスは実現できるのか。 5. 次期介護保険事業計画での保険料の見通しは。</p>
8	質問 (一問一答)	13 村本 道治	<p>1. 小学校の増設について (1) 増設の小学校は小中一貫校として計画しては。 そうすれば、6つの小学校と3つの中学校となりますね。 予算や財政規模などを勘案すればPFI方式もありえますね。国県からの補助金にも頼らずに、独自に可能と考えられます。 人口増加が続く我が市には、4つの地区と5つの小学校があります。各小学校には、それぞれ建物やグラウンドに応じた適正規模の児童数が考えられますが、児童数の現状はいかがでしょうか？ また第一次総合計画「ともに創るとともに育む」に謳われている124頁にある皆がキャンパスライフを楽しむまち、の2にある「時代に適合した学校環境づくり」も想定をはるかにうわまわる人口増加、特に末松ガーデンアイルに象徴される小学生のいる世帯の増加に対応できているのかなあ〜と思います。 そこでですが 現在の5つの小学校 児童数 児童数と学級数、特別指導員の数、正規教員数、非常勤の先生の方の人数と出身地は？ (2) 今、求められる「時代に適合した学校環境づくり」とは？ またこれからの時代に求められる人材育成に必要な基礎学力とは？ (3) 「小中一貫校」、「土曜授業」、「小学校での英語授業の充実」など今日的な課題についての取り組みは？ (4) 南部地域での学校の新築は、地域の悲願であり、21世紀のこの地域の大きな希望です。</p> <p>2. 情報の共有化に向けて (1) 議会の会議資料のペーパーレス化について</p>